

Braz

プラットフォーム
Bridge Accessory Zoom



● システムの概要

Brazは鋼橋の本体構造と付属物を、3次元モデル上で部材干渉や製作上の問題点を検証することにより、手戻りや不具合を防止する**フロントローディング**システムです。

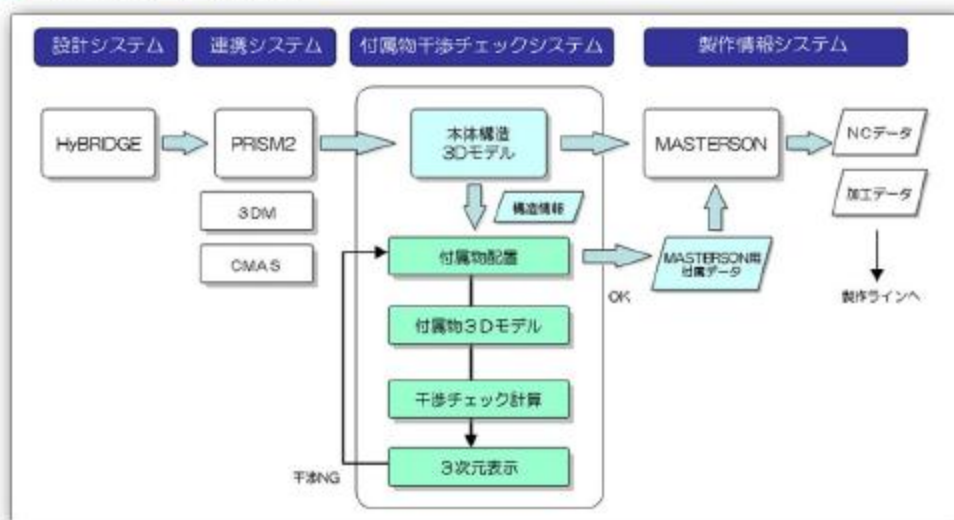
本体構造と付属物（排水装置、検査路、落橋防止装置等）は複数の設計者が担当することが多く、相互の構造取り合い照査が十分でない場合があります。本システムを運用することにより、不具合箇所を自動的に検出します。

付属物の入力作業時間分だけ設計コストは増加しますが、重大なミス未然に防止できトラブルを大幅に削減できます。

● システムの特長

- ・部材同士の干渉エラーはもちろん、接近し過ぎている箇所も検出し、干渉・接近距離と合わせてビューワに表示します。
- ・検証結果は部材ごとにツリーで一覧表示し、部材種類か干渉距離ごとに選択できて目的の箇所を3次元モデルに表示します。
- ・付属物の情報入力は表計算ソフトのEXCELを利用するので、3次元CADの操作スキルを必要としません。

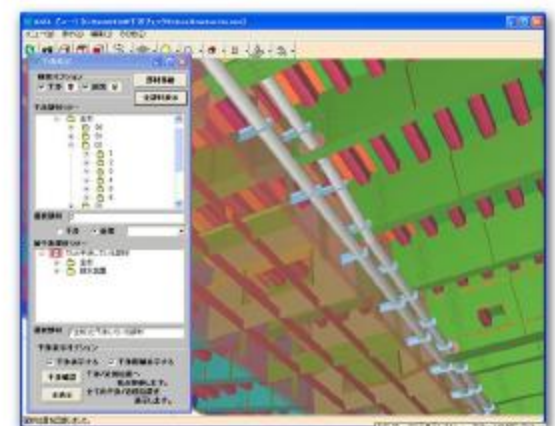
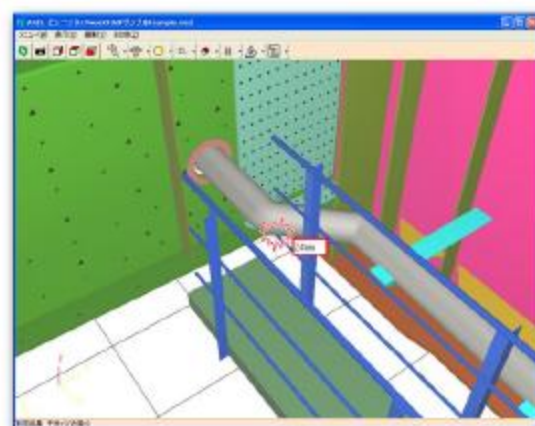
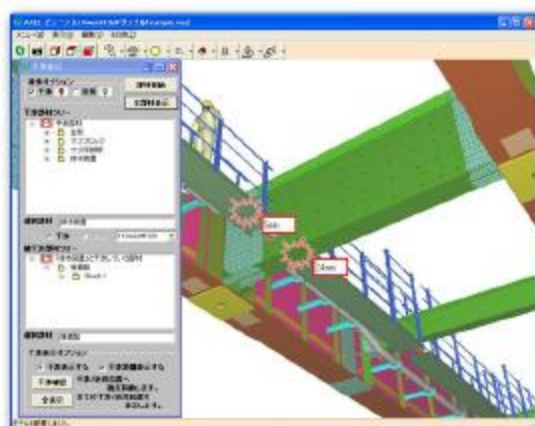
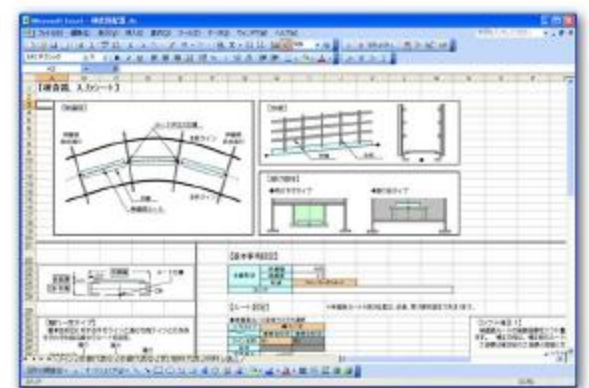
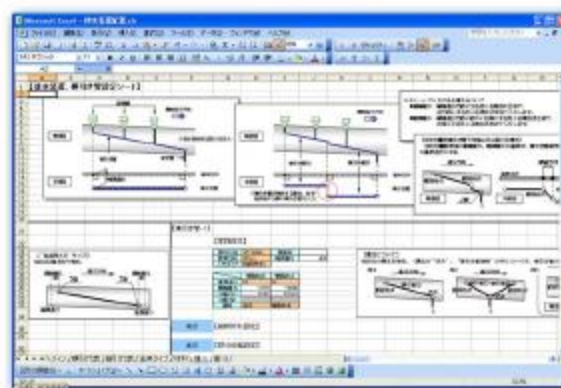
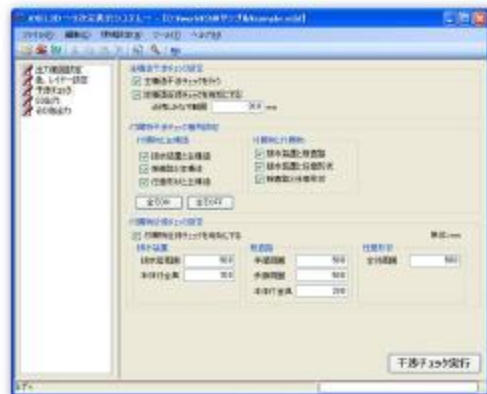
● システムフロー



● 対応構造形式と付属物

- | | |
|-----|---|
| 主構造 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鈹桁橋、箱桁橋、鋼床版箱桁橋 |
| 付属物 | <ul style="list-style-type: none"> 排水装置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 横引き管、縦引き管、誘導管、垂れ流し管、流末管 検査路 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主桁間、箱桁内の橋軸方向検査路、手すり段数変化、受台 任意形状 <ul style="list-style-type: none"> ・ 矩形、円柱を主桁ウェブ、フランジに配置 |

● 画面サンプル

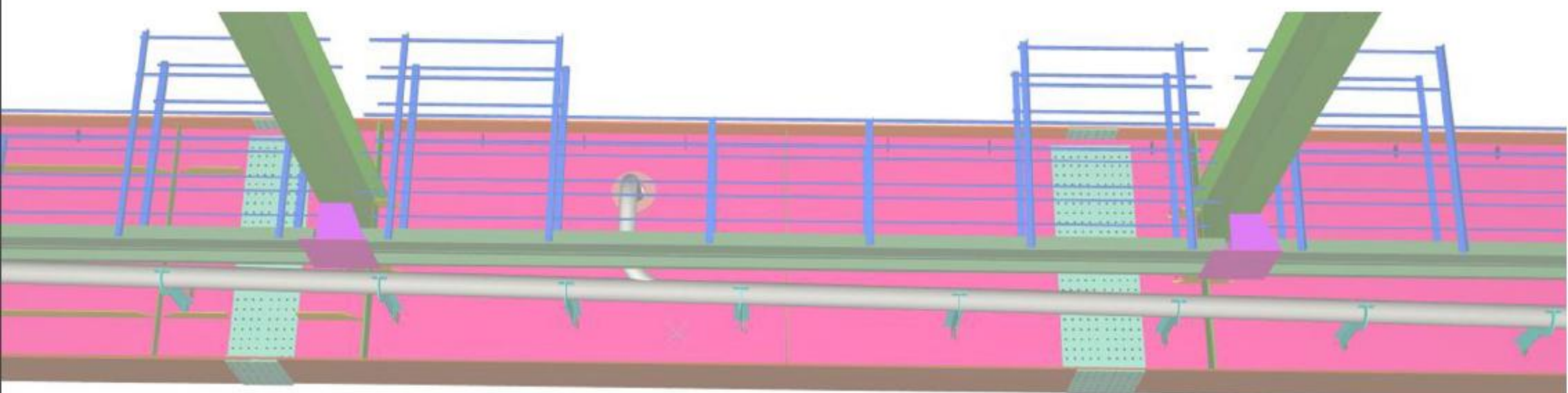


● 動作環境

OS : WindowsXP CPU : インテル Core i5以上推奨 ハードディスク : 10GB以上の空きを推奨 メモリ : 4GBを推奨
 グラフィックボード : DirectX9.0c以上をサポートしており、またGeForceのビデオチップ (128MB以上のビデオメモリ) を搭載していること
 その他 : EXCEL2003/2007、プロテクト用にUSBの空きポートが必要

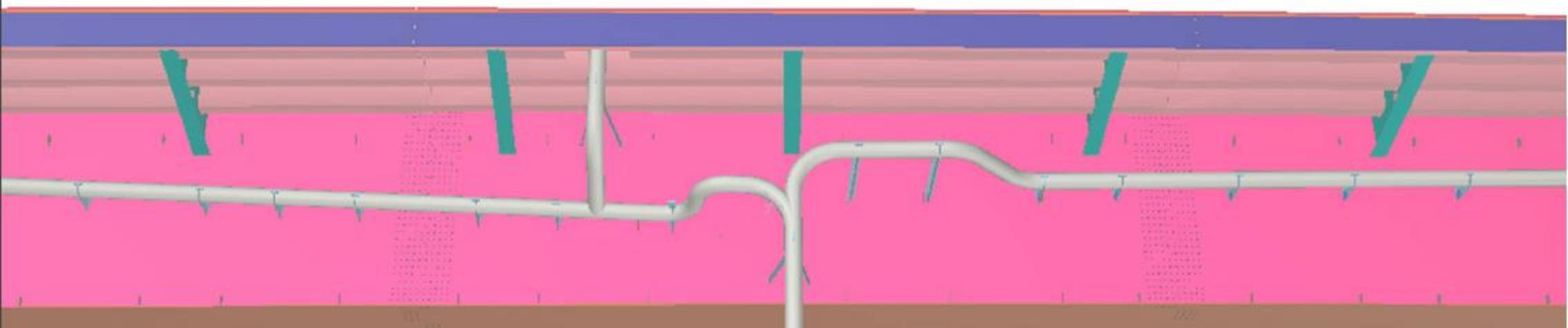
※記載の製品名は、各社の商標または登録商標です。

干渉チェック始めませんか？



『すべての橋梁工事で 付属物による不具合をゼロにしたい、 まずは桁橋から』

近年、設計業務も分業化され複雑になってきています。
ひとつの設計業務に多くの設計者が関わっているのではないのでしょうか。
ミスの多くは仕事と仕事の重なるところで発生していると言われていました。
公共事業が減少する中で不具合によるロスコストの削減は重要な経営課題です。
「付属物による不具合をなくしたい」 Brazはそんな思いで開発されました。



HyBRIDGE
MIPSON
MASTERTSON × Braz

鋼橋付属物干渉

検索